

平成28年度学校マネジメントプラン年度末評価結果

4:よくできている 3:まあまあできている

2:あまりできていない 1:できていない 0:評価できない

質問項目	4	3	2	1	0	行動計画	目標
1	22	50	9	3	6	3.08 (3.15) (1)職業資格・技能検定試験の合格率アップ	3.05 (3.02) 【1】ものづくり教育を通して社会に貢献できる人材を育成する
2	40	46	2	0	2	3.43 (3.40) (2)各種コンクールへの積極的参加	
3	7	42	28	6	7	2.60 (2.51) (3)科学工学科のより一層の特色化	
4	12	53	22	3	0	2.82 (2.75) (1)授業力・評価力・授業の質の向上、学力・技能の定着・伸長	3.08 (3.17) 【2】力のつく授業を推進し、基礎・基本を確実に定着させるとともに、活用する力を身につけさせ、希望進路の実現を図る
5	17	55	15	1	2	3.00 (3.06) (2)教科・科目の年間指導目標を明確にし、公正、公平な指導と評価を行う	
6	38	52	0	0	0	3.42 (3.55) (3)進学・就職目的の明確化を図り、第1志望の進路実現を目指す	
7	18	58	10	2	2	3.05 (2.86) (1)各部署間の連携を図り、キャリア教育の視点で教育活動を行う	2.98 (2.93) 【3】3年間を見通したキャリア教育を推進し、実社会や職業とのつながりを視野に入れ、「学ぶこと」と「働くこと」の関連を理解させ、「生きる力」の育成を図る
8	14	49	19	5	3	2.83 (2.83) (2)SSセンターの周知、部活動の推進を通じてリーダー性・社会常識力・規範意識の醸成を図る	
9	24	53	10	1	2	3.14 (3.10) (3)安全教育の推進	
10	19	47	18	4	2	2.92 (3.02) (4)積極的な地域貢献を行い、その取組を校内外に発信する	

()内は昨年度の数値)

平成28年度 神戸市立科学技術高等学校 マネジメントプラン学校関係者評価

今年度重点目標	具体的方策(取組内容・状況)	達成状況・課題	自己評価	改善の方策	外部評価	外部評価コメント
ものづくり教育を通して社会に貢献できる人材を育成する	(1)職業資格・技能検定試験の合格率の向上を図る。	合格率は各科とも努力目標として高く設定しているため、達成度の低いものもあるが、指導過程も含めて概ね達成できた。	3.05 (3.02)	工業各科のみならず、普通科も含めた学校全体の取組としていく。	B B B A B A	<p>(1)項の自己評価・改善の方策(以下方策と略す)は概ね適正。過去の実績などを考慮した適正な合格率の設定と受験者数の拡大等が望まれる。社会では、資格を要求される傾向にあり、資格取得を学校全体的に広げるのは望ましい方向。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得についてはある程度のところまで行けると安心して、もうこれ以上は大丈夫というような空気が流れているのでは。部活動で忙しい時期は難しいかもしれませんが、引退した3年生は気持ちさえあれば挑戦できる(特に就職組)課題研究と同時進行で取り組むというのはどうでしょうか。 インターンシップでは「挨拶」と「メモ」をとる習慣を。「日報」がなかなかできていない。 科学工学科の生徒にも資格取得を望みます。これからも合格率UPでとりこんでほしい。 資格・検定は結果が数字に出るので生徒も教員も熱心だとわかるが、より達成度を向上させるために「改善の方策」の中で普通科の先生の理解を。普通科教員の協力を。 <p>(2)項の方策は適当である。ロボット等先輩から後輩への技術伝承等がうまくいっている。ものづくりは日本のお家芸であるが、最近携帯でのゲームやメール等に熱中し、道具を使ったり、ものづくりが苦手な生徒が増えているようであり、この活動は大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテスト・コンクールでの活躍は素晴らしい。(2名) 各種大会やコンテストにおける活躍ぶりは素晴らしいものがあるが、外部への結果発信をもっと活発に行えればなお良い。 経験の浅い先生は自分の教科だけで精いっぱい工業科の取り組みまで余裕があるのか。まずは担当教科を大事に。 <p>(3)項の方策は、適当である。今年は科学工学科のインターンシップに参加した生徒が増えており、取組みの改善もみられるように感じる。更なる改善のため、職員間のコミュニケーションを密にする必要があると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大島金属、きんでんなど実習の基本プランは確率していると考え。新しい分野である医療品、医療機器、AIやIOTなどに対応するプランを検討してほしい。 科学工学科については母体となった御影工業以来の「化学」の維持も図ってほしい(医療・生命科学などを理解するベース) 中学校の説明会をもっと開催するべき。 年度末の評価で少数であっても意見を問題視すべき。
	(2)各科の特色を生かしたものづくりを推進し、ものづくりコンテストを中心に、各種コンクールへ積極的に参加する。	各科とも各種大会やコンテストには積極的に参加・出場し、それなりの成果を上げている。工業高校として十分な活動ができている。		工業各科のみならず、普通科も含めた学校全体の取組としていく。		
	(3)科学工学科の教育内容等を再構築し、より一層の特色化を図る。	将来検でカリキュラムを含め具体的検討が行われたが、その内容の周知には課題が残った。		検討内容の周知方法や職員の当事者意識を醸成する。		
力のつく授業を推進し、基礎・基本を確実に定着させるとともに、活用する力を身につけさせ、希望進路の実現を図る	(1)学校のチーム力を高め、各科・各教科における授業力・評価力及び授業の質の向上を図り、学力・技能の定着、伸長を図る。	校内研究授業は4回実施したが、各科・各教員へ十分に浸透していない点があった。	3.08 (3.17)	校内研究授業のみならず、普段の授業を見学するようなシステムをつくる。生徒アンケート結果を各教科で検討し、授業改善を図る。	B B B B B A	<p>(1)項の方策は、概ね適正と考えるが、各科・教員への浸透などの課題、改善策を来年度は是非解消していただきたい。課題報告会では、生徒が頑張っているのがよくわかりよかったが、発表の仕方を改善する必要があると考えます。例えばQCストーリーを参考に、「課題の明確化、その改善方法と活動結果、今後の課題」等、科技高としての発表様式を創るのがいいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生方が時間のない中で目標に向けて努力してくださっていると感じました。科技高の生徒は入学してから勉強しなくなるのが学力低下につながっているので「朝学」のような習慣になることを取り入れてくださったのはとても良い。 授業を面白くするには予習をさせるべき。専門は企業で学ばせる、学校では基礎学力をつけさせてほしい。 受動的な授業になっていないか。生徒の意欲が無いように感じる。もっと発言させるべき。 部活熱心で予習復習の時間がない。部活では意思疎通ができていない。部の先輩が(授業を)教える場面があればいいのに。 課題研究発表のレベルの高さに驚いたが、今一歩踏み込みがないような気がした。 子供一人一人の意識も必要。自分の好きなことに対しては積極的に取り組んでいる。先生方も大変だと思うができる事であれば一人一人十分見ていてほしい。 校内研究授業など具体的な取り組みは進んでいるが不十分。各教員の「教える力」「積極的な取り組み」に個人差がある事実管理職としての方策が具体的に見えていないのでは。 先生方の具体的な努力を学校全体に広げる事が管理職を含めた教員全体の課題。 能力の差は生徒も教師も同じであるが、生徒にとっては教師の個人差で授業内容のレベルに差があってはいけない。 <p>(2)の方策は、概ね適正と考えるが、更にシラバスの見直し・改善し学力の向上を図ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの更なる検討をお願いしたい(中央値の生徒をターゲットにし、わかる授業とするのか、少し上のレベルの生徒を対象とするのかなど、さらなる検討を進めてほしい)。 <p>(3)の方策は、適当で、目標は達成できたと考えます。インターンシップ等を通して、担当の先生方は企業を知る努力をされており就職指導に有益だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学の場合、推薦入学か入試か、本人の目標・動機づけなど難しいと思うが、入試希望の割合を増やすべきでは。 さらに進めていただくことを望む。
	(2)教科・科目のシラバス、年間指導計画・目標及び評価計画を明確にし、それらに基づいた公正、公平な指導と評価を行う。	シラバスが整備され形は整ったが、さらなる内容の検討が必要である。		シラバスの内容の見直しを各教科が責任を持って行い、学力の向上を図る。		
	(3)進学・就職目的の明確化を図り、第1希望の進路実現を目指す。	数値が示す通り、ほぼ目標を達成することができた。		生徒の進路に対する意識の向上を図り、組織として指導する体制づくりを行う。		
3年間を見通したキャリア教育を推進し、実社会や職業とのつながりを視野に入れ、「学ぶこと」と「働くこと」の関連を理解させ、「生きる力」の育成を図る	(1)キャリアセンターを中心に、各学年・各科が連携、協力し、すべての教育活動をキャリア教育の視点で行う。	キャリア教育の意味するところの周知が不十分であった。	2.98 (2.93)	キャリア教育研修を実施し、教員の意識改革を図り、学校全体の取組とする。	B B B B A B	<p>(1)項の方策は概ね適正と考える。キャリア教育の周知徹底をし、教育活動の改善に努めていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> とても重要なのにキャリア教育の意義が漠然としていて、まだ生徒たちに伝わりにくいのかと思う。まずは先輩やインターンシップなどから生徒たち自身が身近な意見や体験を通じて学び取ってもらうことを第1歩として、将来の自分の為に、しっかりと理解して自分事にしてほしいです。 生徒本人の目標設定の自覚に個人差があると考えられ一律ではなく個人の自覚に対応した指導を願いたい。 保護者は大手企業志向だが、中小企業でも素晴らしいところがある。新しい技術も見つけてほしい。 学力向上には必要であるが、当たり前だができる人間、社会に出て生きる事が必要な事を教えてほしい。 コミュニケーションの取れる子供たちが少なくなっていると思います。 <p>(2)項の方策は適当で、成果が出たことは評価できる。SSセンターの意義やねらいなどを明確にして、活動を継続していただきたい。</p> <p>(3)項の方策は、適当と考えます。会社では、5Sに力を入れており、この活動は、インターンシップと同様、生徒に役立つ活動と考えます。来年度は、教員の意識を改善し、活動の改善をお願いしたいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5Sは何も清掃することではない。ものづくりを正確に推進するため部品配置を適切にすることが重要であり、日本人の清潔好きなどの特徴をものづくりを生かす試みを続けてほしい。 <p>(4)項の方策は、適当と考えます。HPは中学生に高校をPRする重要な手段であり、また、冊子「拓」も改善され、楽しく読めるものになっている。科技高の受検生を増やすための、有効な手段の一つであり、さらなる改善をお願いしたいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> HPいつも拝見しています。事細かに行事予定から試合結果、行事内容まで載せてくださるととてもわかりやすいです。 さらに進めていただくことを望む。 「改善の方策」をより一層徹底して取り組んでほしい。科技高らしい他では経験できない魅力ある高校づくりに期待します。特色ある学校ということ中学校にもっとアピールすべき。科技高に入れば夢に近づけるという広報活動をもっとすべき。設立時は多くの中学校に説明に行っていた。学校の魅力が上手く伝えられていないのではないかと。早急な対策が必要。
	(2)スポーツ支援振興センターの設置及び機能を内外に周知するとともに、部活動の推進を通じて、リーダー性・社会常識力・規範意識の養成を図り、あわせて自尊心、愛校心に富んだ生徒を育成する。	各部とも熱心な活動を行い、それなりの成果を上げている。SSセンターについては、周知が不十分なところがあった。		SSセンターについての意義やねらいなどをさらに明確にして周知を図る。部活動を通じた人間力向上の推進を図る。		
	(3)5S活動の推進と関連付けて、安全衛生教育の推進を図り、安全管理意識の醸成を図る。	全職員が同一歩調で5S活動に取り組めていないところがある。教員の規範意識をさらに上げる必要がある。		安全衛生に関する研修を行い、意識の向上を図る。		
	(4)各種活動を通じて積極的に地域貢献を行い、その取組を校外に発信する。	生徒会を中心に定期的に地域清掃活動を行った。HPをリニューアルし、広報の充実を図っている。		学校ホームページのさらなる充実を図る。		

4:達成できた
3:ほぼ達成できた
2:あまり達成できなかった
1:達成できなかった

()内は昨年度

A:自己評価及び改善の方策は適当である
B:自己評価及び改善の方策は概ね適当である